

LNET連動音声セレクト

LSW-SV73M

ユーザーズガイド

この度は、弊社製品をご購入いただき、ありがとうございます。

LSW-SV73Mには以下の商品がパッケージされています。以下の商品が揃っているかのパッケージ内容をチェックしてください。本システムを最大限にご活用いただけるよう、ご使用前に本ユーザーズガイドを必ずお読み下さい。

◆御注意◆
●本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

パッケージ内容

- LSW-SV73M (本体) 1台
- ACケーブル 1本
- マスター装置間接続用制御ケーブル 1本
- アース線 1本
- LSW-SV73Mユーザーズガイド (本書)

本製品の特徴

- 弊社LNETシリーズの画面選択と連動して自動的に音声を変替
- スタンドアロンでも使用可能
- ヘッドセットを2機接続が可能 (ALT機能対応)
- マイク音声とライン入力音声をミキシング出力
- 各入力系統ごとに独立してボリューム調整が可能
- 入出力端子はステレオミニジャックとRCAジャックの2種類
- 19インチラックに取り付けを考慮した設計
- 環境に配慮した鉛フリーに対応

使用上の注意

- 他の製品と重ねてご使用にならないでください。熱による誤動作・火災の原因になります。
- 本製品付属のアダプタ以外を接続しないでください。故障の原因になります。
- 音声転送中にケーブルの抜き差しは絶対に行わないでください。
- アースは必ず、電気配線業者の指定した場所に接続して下さい。また、一番最初に接続してください。
- 接続の際は、機器の電源をOFFにして接続を行ってください。機器の故障の原因になります。

製品仕様

入力端子	ライン：7系統 (RCAジャック×5、ミニビンジャック×2) マイク：3系統 (ミニビンジャック×2、標準ジャック×1)
出力端子	ライン：3系統 (RCAジャック×2、ミニビンジャック×1) ヘッドフォン：2系統 (ミニビンジャック×2)
外形寸法	370 (W) × 200 (D) × 44 (H) mm (但し突起部分を除く)
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz
消費電力	5.5W以下
重量	約2.1Kg
付属品	ACケーブル ×1 アース線 ×1
対応機種	LNET-700/LNET-730/LNET-734 LNET-740R/LNET-670

安全にお使い頂くために

必ずお読み下さい

ここでは、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害及び財産の損害を未然に防ぐための説明を記載しています。製品使用者は必ず本書を読んだ後、内容をよく理解した上で製品を正しく使用してください。本書は読み終わったあとも、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをするとうるが重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをするとうるが死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

● 湯煙や、湿気が当たるような場所 (加湿器のそばなど) に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

● 本体の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 本体の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶け、火災、感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルなどを外した上でおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

警告

● 範囲外の電源電圧 (交流100V ± 10%の範囲外) で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

● 本体の通風孔などから内部に金属屑や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、押し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となります。

● 電源コードの上に重い物を乗せたり、コードがディスプレイ等の下敷きにならないようお気をつけてください。コードに傷がつかないよう、感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら当社または販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

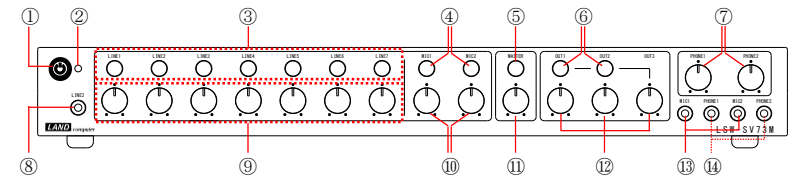
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。

● 水気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

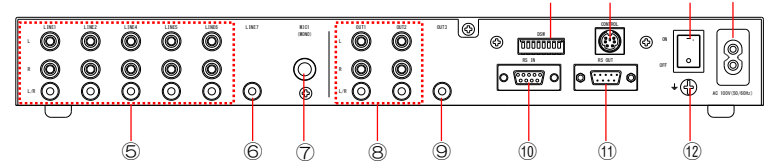
各部名称・LED

LSW-SV73M 前面図



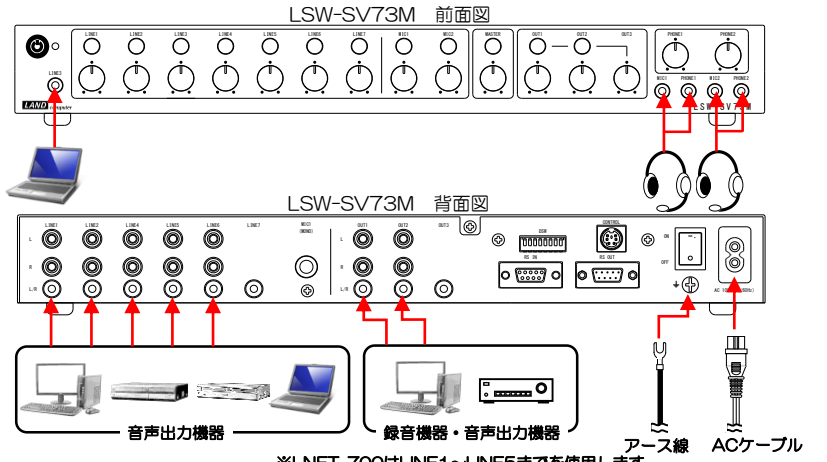
- ①電源ボタン
 - ②POWER LED
 - ③LINE1～7ボタン
 - ④MIC1・2ボタン
 - ⑤MASTERボタン
 - ⑥OUT1・2ボタン
 - ⑦PHONE1・2ボタン
 - ⑧LINE3
 - ⑨入力ボリューム1～7
 - ⑩マイクボリューム1・2
 - ⑪マスターボリューム
 - ⑫出力ボリューム1～3
 - ⑬MIC1・2
 - ⑭PHONE1・2
- 電源をON/OFFします。LNET連動モードでは、LNETの電源ON/OFFと連動します。システムの稼動状態を色で表示します。
[緑 : 起動中 橙 : スタンバイ]
7系統の入力音声を選択します。選択中のものは緑色点灯します。また、LNET連動モードでは、LNET操作と連動して切り替わります。マイク1、マイク2を選択します。OUT1・2・3及びヘッドフォンへの出力を一括してON/OFFします。出力中は緑色点灯します。OUT1・2の出力を個別にON/OFFするスイッチです。ONICすると緑色点灯します。ヘッドフォンのボリュームを調整します。音声機器の出力端子と接続する入力端子です。持込み機器を使用する場合に使用します。LNET連動モードでは「RGB1」に該当します。入力端子LINE1～7の音声の入力音量調整用ボリュームです。マイク1、マイク2の入力音量調整用のボリュームです。OUT1・2・3及びヘッドフォンへの出力音量を個別に調整するボリュームです。OUT1・2・3の出力音量を個別に調整するボリュームです。マイクを接続する端子です。
※マイク端子1・2には、プラグインパワー対応コンデンサマイク (パソコンに接続可能なマイク) を接続してください。ヘッドフォンを接続する端子です。

LSW-SV73M 背面図



- ①DIPスイッチ
 - ②CONTROL
 - ③電源スイッチ
 - ④AC 100V
 - ⑤LINE1・2・4～6
 - ⑥LINE7
 - ⑦MIC1 (MONO)
 - ⑧OUT1・2
 - ⑨OUT3
 - ⑩RS IN
 - ⑪RS OUT
 - ⑫アース端子
- 本製品の動作モードを設定します。LNETシリーズのマスター装置のコントロールコネクタと接続します。本製品の主電源をON/OFFします。電源ケーブルでAC100Vに接続します。音声機器の出力端子と接続します。LNETとの連動で使用する場合、LNETの送信画面選択に対応するように機器を順に接続します。
※RCAケーブルとミニビンケーブルを両方差した場合はミニビンケーブルが優先されます。LNET-670マスター装置の「LINE OUT」とミニビンケーブルで接続します。ダイナミックマイク接続用の標準ジャックです。
※マイクケーブル使用には、DIPスイッチの設定が必要です。使用される場合は、マイクボリューム1側で音量の調整を行います。また、前面のマイク端子「MIC1」には、マイクを接続しないでください。録音機器や音声出力機器を接続します。前面の出力選択スイッチで個別に出力を制御することができます。LNET連動モードの場合は、OUT1・2には確認画面選択の音声出力が出力されます。LNETのマスター装置の「LINE IN」と接続します。LNET連動モードでは、送信画面選択の音声出力が出力されます。外部制御時に使用します。本システムでは使用しません。アース線を接続します。

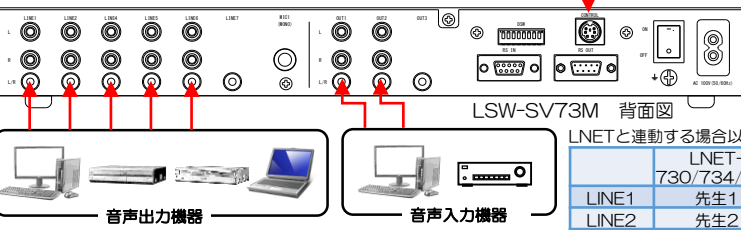
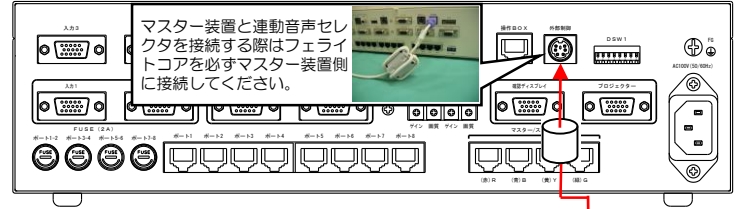
接続方法



※LINE1~LINE5までを使用します。
 ※RCAピンジャックとミニジャックのどちらか一方を接続してください。
 一系統にRCAピンジャックとミニジャックの両方を接続しないでください。

LNET機器との接続例

LNET-M700 背面図



※LNET-734・670の場合はLSW-SV73Mの「OUT3」音声出力をマスター装置の「音声入力」(LINE IN)に接続して下さい。

DIPスイッチ設定

DSW	設定内容
1	ON スタンドアロンモード有効
	OFF スタンドアロンモード無効
2	ON マスター制御モード (LNET連動モード) 有効
	OFF マスター制御モード (LNET連動モード) 無効
3	ON FS-232C制御モード有効
	OFF FS-232C制御モード無効
4	- 使用しません
5	ON リアマイク設定：リアマイク使用
	OFF リアマイク設定：リアマイク未使用
6・7	ON 使用しません
	OFF 使用しません
8	ON ミキサーモード ※スタンドアロンモード時有効
	OFF セレクトモード

※DIPスイッチの設定は、必ずLSW-SV73Mの電源を切って行ってください。
 ※制御モード設定スイッチ1~3は下位が優先となります。
 ※リアマイク使用設定時は、前面のマイク1は接続しないでご利用ください。

LNETと連動する場合以下の様に接続して下さい

	LNET-730/734/740	LNET-700
LINE1	先生1	入力1
LINE2	先生2	入力2
LINE3	RGB1	入力3
LINE4	ビデオ1	入力4
LINE5	ビデオ2	入力5
LINE6	ビデオ3	-

トラブルシューティング

- LSW-SV73Mの電源が入らない
 - (Check) LSW-SV73Mの主電源はONになっていますか?
 - (Check) DIPスイッチは正しい設定されていますか?
 - (Check) マスター装置と正しく接続されていますか? (LNET連動モード時)
- 音が鳴らない
 - (Check) LSW-SV73MとLNETマスター装置がコントロールコネクタで接続されていますか? (LNET連動モード時)
 - (Check) LSW-SV73Mのボリュームは適切な状態ですか?
 - (Check) ⇒LNETのソース切り替えに連動してLSW-SV73の緑LEDが移動する事 (LNET連動モード時)。
 また、MASTER、OUT1/2のLEDが緑点灯していることを確認し、すべてのボリュームを右一杯に回してみてください。

ハードウェア保証書

製造番号 (S/N)		型式	LSW-SV73M
品名	LNET連動音声セクタ		
保証期間	ご購入日より 5年間 有効です		
お客様様	ふりがな		
	お名前		
様	〒	TEL ()	-
	ご住所		
販売店	ご購入日		
	住所・店名		
	TEL ()	-	

お客様へ
 お客様に商品をお渡す際に必ず、製品本体に記載している製品番号 (S/N) 及び、ご購入日、貴店名/住所、貴店印を当社にて捺印下さい。記入漏れの場合、弊社、出荷日時点での保証期間での対応となります。

- 保証規定**
- この製品は、当社の厳密な製品検査を経てお届けしたものです。保証期間内に正常な使用状態において、万一故障した場合は、無料修理を行いますので、当社又は販売店に本製品と本保証書を添えてお申し込み下さい。
 - 本保証書はご購入日より有効です。
 - 当社までの送料はご負担をお願い致します。尚、ご返送いただく場合には、必ず運送保険をおかけ下さい。
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
 - 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の移動・落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、天災、雷害、ガス害、異常電圧等による故障、損傷の場合。
 - 当社以外で修理、調整、改造された場合。
 - 接続している他の機器に起因して本製品に故障を生じた場合。
 - 本保証書の指示が無い場合。
 - 本製品の故障のため生じた2次の事故 (データ、プログラム、メディア等含む) については保証対象外とさせていただきます。
 - 保証期間はお買い上げ日より5年間です。この期間内であれば修理代は無料と致します。
 - お買い上げ後5年間を過ぎた場合の修理代金は、当社規定の修理基本料金+部品代実費とさせていただきます。但し、調査の結果、故障とは認められない場合にも、調査費は頂きますのでご了承ください。
 - 納入後1週間以内で、仕様が合わなくて正常に動作しない場合は、返品を受けさせていただきます。(但し特注品を除きます)
 - 本製品を運用した結果のデータに関しては、保証対象外とさせていただきます。
 - 当社の商品は、すべて日本国内での使用前に販売しておりますので、国外での使用には、商品に対する保証、即ち、製品、品質、Product Liabilityその他一切の保証並びにサービスは、範囲外になりますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ

LNET連動音声セクタ
 ◇ <LSW-SV73Mユーザズガイド> ◇
 発行所：株式会社ランドコンピュータ

Printed In Japan
 サポート部：(0120) 161639 (フリーダイヤル)
 オンライン受付：http://www.landcomp.co.jp/support/rep_guide.htm

E-mail：support@landcomp.co.jp
 <本 社> 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル
 TEL 06(6304)8424 FAX 06(6307)2121
 <熊本テクニカルセンター>
 〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 テクノリサーチパーク内
 TEL 096(286)9341 FAX 096(286)9342